

2017年度

A

- 言葉で迷い 言葉で傷つき 同時に言葉で目覚める
- 自分に満足できないから 相手の幸せが耐えられない
- 教えよりも 教えを聞いている自分を信じている
- 大切なことは、目に見えないんだよ
- みんなちがって、みんないい
- ほんとうのいちばん深い闇は、わかっているという思いです

B

- 人間は 自分の心に自分が縛られている
- どれほど道があろうと 自分が登るとなるとひとつです
- 花咲かす 見えぬ力を春という 人となす 見えぬ力を仏という
- 本当の悲劇は善と善が戦った時に起こる
- 人生は長さだけではない 幅もあれば 深さもある
- この泥があればこそ咲く蓮の花

2018年度

A

- あなたが人生に絶望しても 人生はあなたに絶望していない
- ほんとうの賢い人というのは 自己の愚かさを知っている人です
- 自分を悩ませるものは 自分の中にあった
- チャンスはピンチの顔してやってくる
- 私はあの人にはなれないけど あの人私も私になれない
- できることは減りました ありがとうが増えました

B

- 当たり前のことの中に ただごとではない幸せがある
- 仲間を作ることは必ず仲間外れを作ることでもあります
- 未来とは 今である
- どんな人だって 願いのかかっておらぬものは 一人もいない
- 一日の空過はやがて一生の空過となる
- 立ち止まって悩むより 動きながら考える

2019年度

A

- 一息一息が初事なもの
- 人は 親を亡くして 親を知り 親を亡くして 親と出会う
- 人生は 生涯をかけた ひとり旅 どこに向かい どこに帰るのか
- わたし「が」仏教「を」学ぶのではなく 仏教「に」わたし「を」学ぶのです
- 私たちは、生きることなく、ただ、生きる準備ばかりしている
- 他人の悪口はウソでも面白いが、自分の悪口はホントウでも腹が立つ

B

- 生きているとは、問われているということ
- 念仏は 悩みをなくす術ではない 悩んでいける道である
- 何も後悔することがなければ、人生はとても空虚なものになるだろう
- 自己がわからない人は他人を責める 自己がわかった人は他人を痛む
- 人間の言う 善悪って 何だろう
- いつまでも純真なれ いつまでも未熟なれ いつまでも持続せよ

2020年度

A

- 生きるとは迷惑を掛けることです それが人との繋がりを保つのです
- ものが縛るものではありません ものをとらえる心に縛られるのです
- またひとつしくじったしくじるたびに目があいて世の中すこし広くなる
- 賢い人とは多くのことを知る人ではなく大事なことを知る人である
- あなたはあなたになればいい あなたはあなたであればいい
- 人が迷わすのでない 自分が迷っているのだ

B

- 自分は正しい 自分は賢いというところに立っているこれが人間の迷いのもとです
- 亡き人を案ずる私が 亡き人から案ぜられている
- 古い 病 そして死をとおして いのちの輝きを知る
- 嫌な時はなあ 逃げたっていいんだよ！
- ゝホッと、したときでなく ゝハッと、したとき 真実に触れる
- 毎日を生きよ あなたの人生が始まった時のように

2021年度

A

- 答えを持ったら そこで終わり 問いを持ったらそこが始まり
- 自分に確かなものはない それだけは確かでした
- 迷惑をかけたくないと 思っても 迷惑をかけずには 生きていけない 私
- 雨の日には 雨の日の 生き方がある
- これからが これまでを 決める
- 「ありがとう」の反対語は何でしょうか？ 答え「当たり前」

B

- 人間の愚かさとは 何に対しても答えをもっていることだ
- もうだめだ と思う向こうに道がある
- 静かに己れを悲しむころより 真実の力は 生まれる
- 一切は縁において生まれ 縁においてあり 縁において去っていく
- 安心して悲しめる場があれば 人は悲しみの意味と向き合うことができる
- むなしさを感じるのは 本当の自分にうなずきたいということがあるから

2022年度

A

- 人生とは 今日一日のことである
- 人生 やりなおしはできないが 見直すことはできる
- 今を生きずに いつを生きる ここを生きずに どこを生きる
- 暗闇の中でこそ 星が見える
- 重要なことは 正しい答えを見つけることではない
- 人の悪きことはよくよく見ゆるなり わが身の悪き事は 覚えざるものなり

B

- 人間は 偉いものではない 尊いものです
- 過去を悔やみ 未来を心配し 今を失っている
- ゴールは終着点ではない 新たな道へのスタート地点なのだ
- 私たちは自分の物差しに合っときにしか「おかげさま」と言わない
- うれしいときでも悲しいときでも 自分の人生はそこにある
- 生えて困る草を 勝手に雑草と 呼んでいました

2023年度

A

- 生涯を尽くしても、出会わなければならない、ただひとりの人がいる。それは、私自身
- 歴史は事実を伝え 物語は真実を伝える
- 深い悲しみを通してのみ 見えてくる世界がある
- 失敗は私に 私の一番いけないところを 教えにきてくれた 大切なお使い
- 問いは世界を開く 答えは世界を閉ざす
- 空しいのは 本当に生きたいという いのちの叫び

B

- 救われた気になることこそ、人間を本当の救いから一番遠ざけてしまう
- わたしたちはいつの間にか、多数を正義としてひとりを見失ってしまいました
- 私の常識は 誰かの非常識
- 相手を鬼と見る人は 自分もまた鬼である
- 平和のために戦いが続く なんと愚かなことか
- 「らしさ」ってなんですか？

2024年度

A

- 老いが 病が 死が 私の生を 問いかけている
- 私たちは自分の思いを中心にした眠しかもたない
- 出会いが人を育てていく 別れが人を深めていく
- 他人と くらべず あせらず あきらめず
- 人はみな その真面目さ純粹さにより迷うのでしょう
- 一人であって 一人ではないのです

B

- 苦しみとは思いどおりにならないことを 思いどおりにしよとすること
- 私のあたまにつのがあった つきあたって折れてわかった
- 「負けたことがある」というのがいつか大きな財産になる
- なければないで苦しみ あればあるで苦しむ
- 一寸先は闇という その闇は私の中にある
- 私は私で ありたいが どんな私か わからない